



# JINS

## Sustainability Report 2025

Yasuda Sequence Tower, 1, Kanda Nishiki-cho 3-chome,  
Chiyoda-ku Tokyo, Japan 〒101-0054  
JINS HOLDINGS Inc. jinsholdings.com

# Table of Contents

- 会社概要 P04-
- サステナビリティビジョン P08-
- トップメッセージ P10-
- マテリアリティ P12-
- 2050コミットメントと2030KPI P13-
- サステナビリティ推進体制 P15-
- 外部からの評価 P16-
- 今年のトピックス P17-

## 編集方針

JINSは、サステナビリティビジョンに「アイウェアを通して、未来の景色を変えていく。」を掲げ、すべての人の視線の先に広がる未来の景色を、サステナブルでより良いものへと変えていくべく、様々なミッションに取り組んでいます。JINSでは、私たちの取り組みをよりわかりやすくお伝えするために、2021年からサステナビリティレポートおよびサステナビリティデータブックの発行を開始しました。JINSのサステナビリティに関する考え方や目標、各種取り組みをご紹介することで、お客様、株主の皆様、お取引先様、地域社会、従業員などのステークホルダーの皆様と深いコミュニケーションを図り、私たちのサステナビリティや企業姿勢についてよりご理解いただく目的で編集しています。

## レポートの報告対象範囲

対象範囲	株式会社ジンスホールディングスと株式会社ジンスを主な対象範囲としています。
対象期間	年度は、会計年度である9月から翌年8月を対象としています。 例えば、2025年度は、2024年9月から2025年8月を対象としています。個別の対象期間を定義している場合には、各掲載場所にその旨を明示しています。2025年度（2024年9月1日から2025年8月31日）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も一部含んでいます。
参考ガイドライン	・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) ・環境報告ガイドライン（2018年版）
報告サイクル	報告は年次（毎年3月）での更新を原則とします。

## WEBサイト

JINSのサステナビリティに関する詳しい情報はこちらからご覧ください。

WEBサイト：<https://jinsholdings.com/jp/ja/sustainability/>

## Our Vision

# Magnify Life

## まだ見ぬ、ひかりを

いつもと世界が違って見える。

**JINS**は、そんなきっかけを人々に提供したいと願う。

人々の生き方そのものを豊かに広げ、

これまでにない体験へと導きたい。

だからこそ私たちは、まだ誰も知らない可能性にひかりを当て、

「あたらしい、あたりまえ」を創っていく。

まだ見ぬひかりが未来を照らせば、世界はもっと、明るくなる。



# Company Profile

商号 株式会社 ジンズホールディングス

東京本社 東京都千代田区神田錦町三丁目1番地 安田シーケンスタワー

前橋本社 群馬県前橋市川原町二丁目26番地4

代表者 代表取締役社長COO 田中 亮

設立 1988年7月

資本金 3,202百万円

上場市場 東京証券取引所 プライム市場  
(証券コード) (3046)

事業内容 下記事業を営む子会社等の事業活動の支配及び管理  
アイウェアの企画、製造、販売及び輸出入 ウェアラブル  
端末およびそれらの関連商品の企画、開発、製造、加工、  
販売、賃貸、保守および輸出入 医薬品、およびそれらの  
関連商品の販売および輸出入

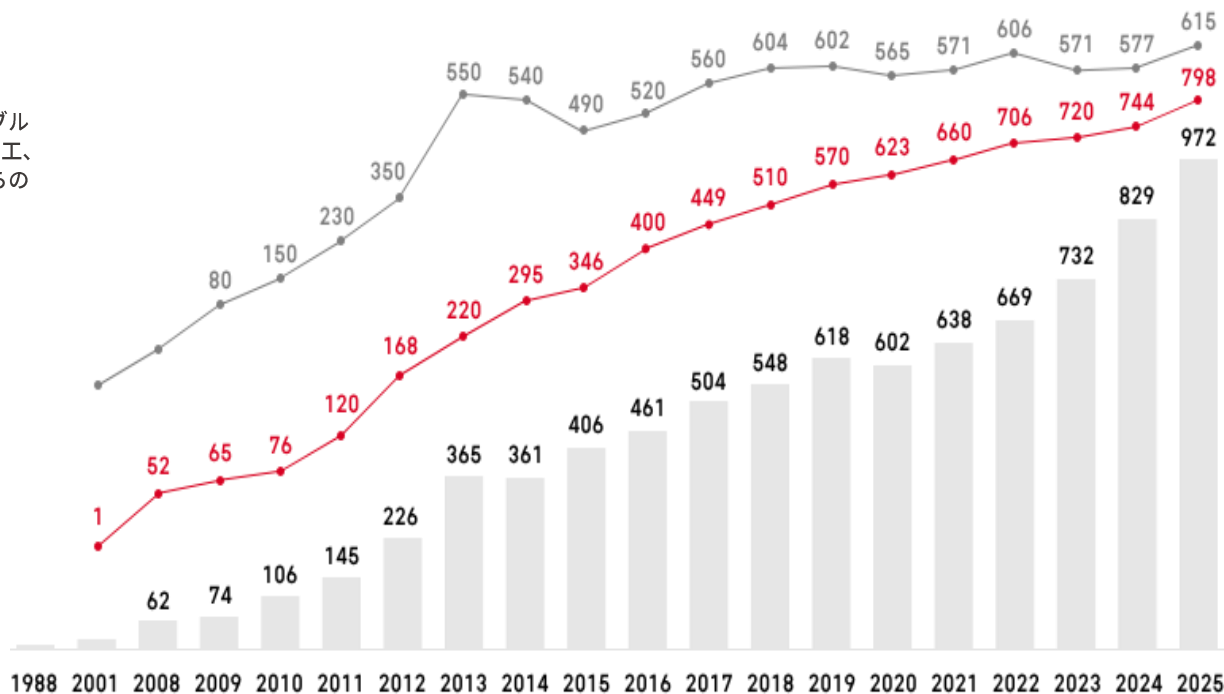
売上高 97,215百万円 (2025年8月期実績)

従業員数 3,671名[1,865名] (2025年8月末現在)  
([外書]は準社員等)

グループ企業  
国内企業 **JINS JINS norma**  
**株式会社ヤマトテクニカル**

海外企業 (海外JINS事業)  
晴姿(上海)企業管理有限公司  
JINS Eyewear US, Inc.  
台湾晴姿股份有限公司  
JINS Hong Kong Ltd.  
JINS Vietnam Co., Ltd  
JINS Philippines Inc.

● 国内年間販売本数 単位 = 万本  
● JINS店舗数 (海外店・海外FC含む)  
■ 売上高 (連結ベース) 単位 = 億



# Product & Experience

業界の常識を覆すアイウェアと  
驚きの体験をすべての人へ。



## Airframe

空気のように、気分も軽くなるかけ心地

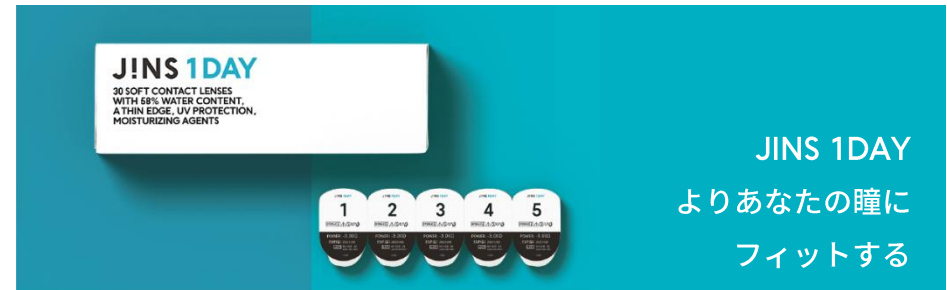
「メガネは窮屈で重い物」というイメージを覆す、今までにない軽いかけ心地を追求したJINSの代表作。軽さだけでなく、かけ心地・安全性・デザイン・低価格にもこだわり、日本に軽量メガネという新たなジャンルを確立させました。



## JINS SCREEN

「機能性アイウェア」カテゴリーの誕生

2010年代初頭、学術研究がはじまったばかりのブルーライトに着目して市場をゼロから切り開き、メガネをかけない人にも必要とされるメガネが誕生。メガネに視力矯正以外の価値を付加したこの商品を機に、JINSは「機能性アイウェア」という新たな市場を開拓しています。



JINSでコンタクトを扱ってほしいという、お客様からの高いニーズを受け、「JINS 1DAY」は誕生しました。瞳にフィットするよう設計し、快適なつけ心地を実現。コンタクトレンズの「あたらしい、あたりまえ」をつくります。

## JINS APP

メガネをもっと、楽しく、便利に、お得に

店舗での購入体験をもっと快適に楽しんでもらいたい。そんな想いから様々なサービスを1つのアプリに集約。保証書や度数情報の管理、メガネの試着と似合い度判定、会員限定クーポンなど、今よりもずっと便利に、お得に購入ができるオリジナルアプリです。

JINS会員の数は2025年8月末現在で約1,652万人となりました。度数情報の管理やメガネの似合い度判定などのアプリ内サービスを、より多くの方にご利用いただくことでデータベースをさらに強化。お客様がもっと快適に楽しめる購入体験を生み出していきます。

※2025年8月時点



## 高品質、その先へ MORE THAN GOOD

### 世界品質の薄型非球面レンズ

JINSのメガネは、世界シェアNo.1レンズメーカーのエシロールグループや、大手HOYAグループなどの薄型非球面レンズを標準搭載。球面レンズと比べて歪みが少なく、視界がクリアなうえ、レンズの厚みを気にすることなくお好きなデザインのフレームを楽しんでいただけます。



### 最高の掛け心地と品質を求めて

快適な掛け心地・品質を実現するため、設計へのこだわりのほか、形状や素材も改良を加えて独自に開発。細かなパーツも決して手を抜きません。また、ISOの国際規格、旧JIS規格やJINS独自基準を含め、最大20項目におよぶ検査を行い、「妥協0」の品質を提供します。



## 適正価格、その先へ MORE THAN FAIR PRICE

### SPA方式

JINSは、企画・生産・流通・販売までを自社で一貫して行うSPA方式を採用しています。それにより、中間マージンやブランド料金といった無駄なコストを大幅カット。また、お客様の声を反映した製品づくりが可能となり、高品質なメガネを適正価格でお届けできます。



### 標準クリアレンズの追加料金は¥0\*です

多くのメガネブランドでは、度数を強く、レンズを薄くすれば、レンズの代金は上がっていくもの。しかしJINSでは、近視・乱視の強い方でも、どんな度数でも、追加料金はいただきません。  
\*屈折率1.60の単焦点クリアレンズ



## 速さ、その先へ MORE THAN FAST

### 最短30分でお渡し

JINSは店舗オペレーションの効率化により即日お渡しを実現。「メガネは受け取るまでに時間がかかるもの」というイメージを刷新しました。1.メガネを選んで受付 2.視力測定 3.会計の簡単3ステップ。会計後、最短30分でお渡しが可能です。（レンズ在庫がある場合）。



### オンラインショップ

オンラインショップは店舗以上のバリエーションで商品を取りそろえております。商品は自宅、コンビニに加えJINS店頭でもお受け取り可能。全国の店舗でアフターサービスを受けることができます。さらに、お客様の環境に応じた、多彩な決済方法を導入しています。



## 新しさ、その先へ MORE THAN NEW

### 産学連携からメガネの可能性を探る

R&D（研究開発）室では、パートナー企業や大学教授、専門医と協力しながら「これからの商品・サービス」を生み出す研究を続けています。産学連携プロジェクトから生まれた代表作、「JINS SCREEN」は、教育現場や医療機関、企業などでも導入が進められています。



### 新たな素材を探して

ナイロン樹脂「TR-90」との出会いから「Airframe」が生まれたように、新たな機能を持つメガネを生み出すためには新素材の開発が必要不可欠です。JINSはメガネの未来を切り拓く素材を探して、常に情報収集のアンテナを広げています。





# Sustainability Vision

## Sustainability Vision

# アイウエアを通して、 未来の景色を変えていく。

いいアイウエアとは

「未来の景色を変えるもの」でなくてはいけない。  
それがJINSの信念です。

JINSのつくるアイウエアをかけた方の、その後の人生はもちろんのこと、  
この産業に携わるすべての働く人々、究極的にはアイウエアを使わない人々まで。  
そのすべての視線の先に広がる未来の景色を、サステナブルでより良いものへと作り変えていく。

そのために様々なミッションに取り組んでいます。  
例えば、環境負荷を減らす、循環型アイウエア製造への挑戦。  
地域共生と活性化や、子どもたちへの支援。  
目の健康を守るための、光の研究とその啓発活動。  
視力だけでなく、体の姿勢や心の健康までをケアするセンシングデバイスの製造。  
そして、近視を矯正するだけでなく先手を打って「予防する」医療機器の開発まで。

世界人口の1/3が近視といわれ、その社会的コストが増え続けている時代に。  
アイウエア産業がイノベーションを起こせば、社会全体の行く末を変えるインパクトがあります。  
高品質を、最適な価格で、必要なすべての人のもとに。  
その想いで、業界のあたりまえの景色に風穴を開けた創業時から、  
JINSはアイウエアを通して社会の先を見つめ、常識を覆しながら、絶えず行動を続けています。

### Magnify Life

まだ見ぬ、ひかりを

人類の豊かさが、その先に広がっていると信じて。



# TOP Message



## アイウエアを通して、 未来の景色を変えていく。

代表取締役会長 CEO

田中仁

JINSが掲げる「Magnify Life - まだ見ぬ、ひかりを」というビジョン。

この思想を次の世代へと確実に繋ぎ、より強固なものとするため、2025年11月に社長職を引き継ぎ新たな体制へと移行しました。私は引き続きCEOとして、より長期的かつ大局的な視点から、JINSの未来を牽引していきます。

これまで地域社会やまちづくりに関わる中で、私は一つの確信を持つようになりました。

それは、「短期的な合理性の積み重ねでは、社会は良くならない」ということです。

企業経営においても同様に、数十年先を見据えた意思決定こそが、本当の意味での持続可能性につながります。

いま世界では、気候変動や資源の制約、分断や格差の拡大といった複雑な課題が顕在化しています。こうした時代において求められるのは、単なる対応ではなく、社会のあり方そのものを問い直す視点です。

だからこそ私たちは、目先の最適解ではなく、「どのような未来をつくりたいのか」という問いから出発します。

『アイウエアを通して、未来の景色を変えていく。』

これが、JINSのサステナビリティビジョンです。

私たちはこれまで、価格や機能、流通の常識を覆すことで、アイウエアのあり方そのものを変えてきました。

視力矯正器具であった眼鏡を、より自由で、より身近な存在へと進化させてきた企業だからこそ、社会に対しても新しい価値の提示ができると考えています。

現在、JINSの挑戦は日本にとどまらず、米国、中国、東南アジアなど新たな国々へと広がっています。世界中の人々に、より良い視界と、それによって広がる可能性を届けること。それ自体が、私たちの果たすべきサステナビリティの一つの形です。

また、人々の健康に寄り添う企業として、眼科医やアカデミアとの連携を深め、科学的根拠に基づいた研究・開発にも取り組んでいます。

単なる商品提供にとどまらず、「見る」という行為そのものの価値を高めていく。それが私たちの責任であり、役割です。

事業活動そのものが、社会にとって意味のあるものになっているか。

その問いを自らに投げかけ続けながら、私たちはこれからも「あたらしい、あたりまえ」を創り続けていきます。

JINSが存在することで、世界の景色が少しでも明るく、そして豊かに変わっていく。

その未来を、私たちは本気で実現していきます。

# TOP Message

## 未来の景色を 変えていくために。

JINSのサステナビリティビジョン「アイウェアを通して、未来の景色を変えていく。」の実現に向け、私たちは事業とサステナビリティの両輪で、絶えず挑戦を続けています。私は2025年11月より新たに社長に就任いたしました。引き続きサステナビリティ推進の責任者として、既存の枠組みにとらわれない価値創出を力強く牽引してまいります。

現在、JINSは日本国内のみならず、中国・米国・台湾を始めとした海外事業の強化や、モンゴルやベトナムをはじめとする新規国への出店など、グローバル化を加速させています。多様な文化や価値観を持つ国々へ展開する中で、私たちが解決すべき社会課題もより多層的になっています。

SDGsの目標年である2030年に向けて策定した6つのマテリアリティ（重要課題）への取り組みは、いまやグローバル企業として果たすべき最低限の責任であり、同時に持続的な成長のための大きなエンジンであると確信しています。

グローバル化が進む今、その成長を支える最大の源泉は「人」に他なりません。国籍、年齢、性別、キャリアといった個々の違いを尊重し、多様な視点が交差する組織こそが、次なるイノベーションを生み出します。

DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）を単なるスローガンに留めず、誰もが能力を最大限に発揮できる環境を整えることで、人的資本の最大化を追求してまいります。

また、世界中のステークホルダーの皆様から信頼され誠実に価値を届けていくために、コーポレートガバナンスの強化は最優先事項です。

透明性の高い経営を実践し、各地域の法的・倫理的要請に真摯に応えるとともに、変化の激しい国際社会においても揺るぎない経営基盤を構築していきます。

環境負荷の低減やヘルスケア領域での革新など、私たちが取り組むべき課題に対しては、JINSならではの軽やかな発想に加えて、デジタル技術やAIの積極的な活用が鍵を握ると考えています。

先進的なテクノロジーと多様な人材の創造性を掛け合わせることで、これまでにない解決策を一つひとつ着実に形にしてまいります。これからも「あたらしい、あたりまえ」に挑み続けるJINSの姿勢にご共感いただき、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、皆様とともに確かな歩みを進めていければ幸いです。

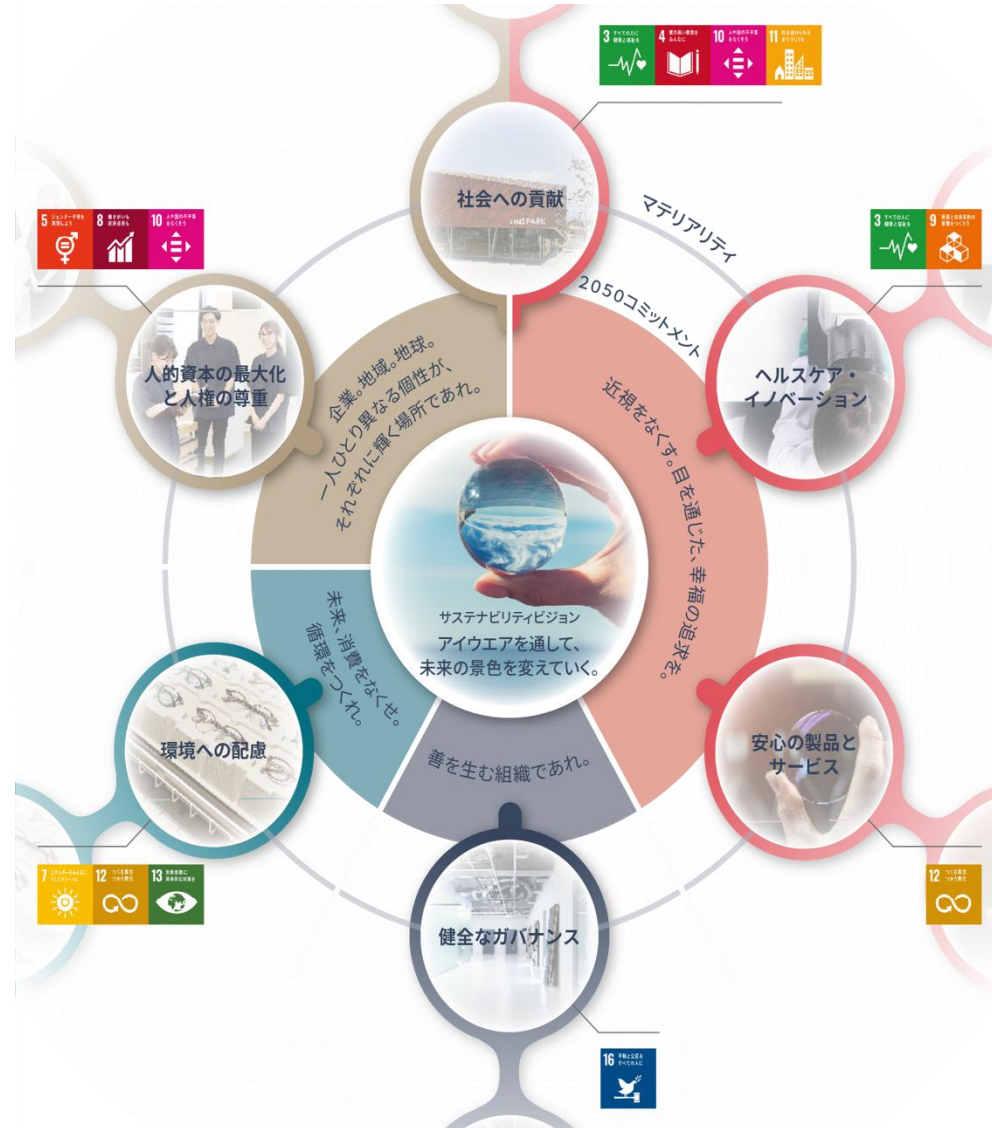
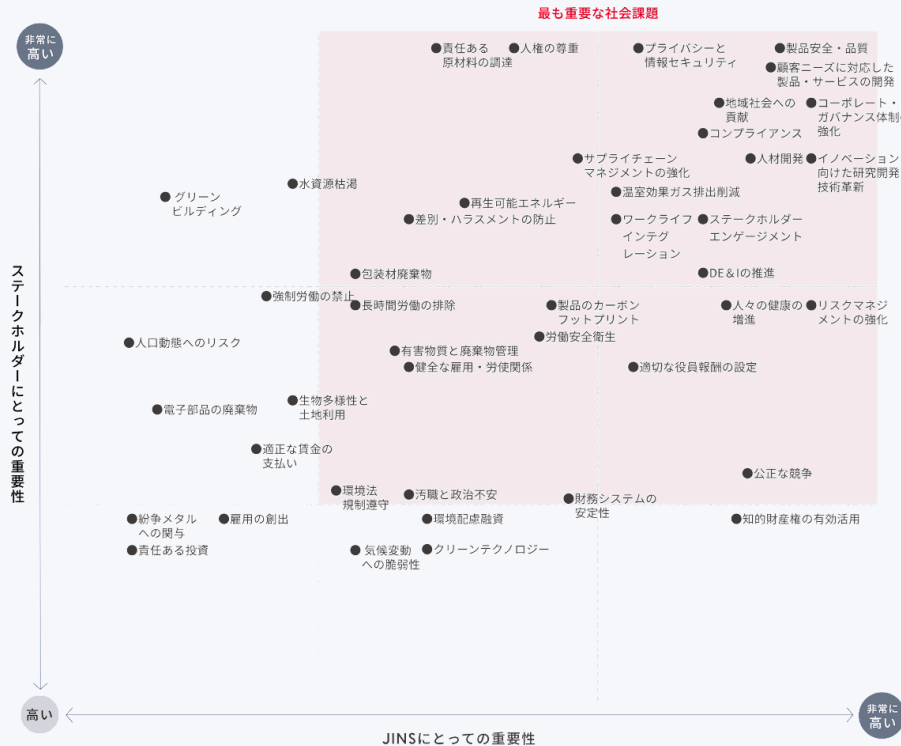


代表取締役社長 COO  
サステナビリティ推進担当役員

田中亮

# Materiality

JINSは2021年にマテリアリティを特定し、取り組みを進めてきましたが、社会情勢や事業を取り巻く環境が近年大きく変化していることから、自社の戦略等を踏まえ、2024年にマテリアリティを見直しました。特定した6つのマテリアリティごとに目標設定、進捗管理、評価、改善プロセスを実施し、部門及び従業員にサステナビリティ活動を展開しています。マテリアリティは、社会課題の洗い出し・社会課題の優先順位付けとマテリアリティとしての整理・マテリアリティに紐づくKPI/中期目標の設定・外部有識者による妥当性の確認・経営層の承認/マテリアリティの特定というプロセスに基づいています。今後も社会や事業環境の変化に合わせて、定期的にマテリアリティを見直していきます。



# 2050 COMMITMENT

循環をつくれ。  
未来、消費をなくせ。

この地球上にあるいくつもの環境問題。その根本には、人間の経済活動があります。ならば、消費というもののあり方に変革を起こせませんか？環境問題にこそ、JINSらしい挑戦の姿勢で取り組んでいきたいと考えます。まずは、カーボンニュートラルの実現。グループ内のCO2排出を実質ゼロとするため、再生可能エネルギー比率を100%へ。一方、プロダクトについては、廃棄商品ゼロを推し進めると同時に、100%循環型のアイウェアへとシフト。環境についても「あたらしい、あたりまえ」を生み出すべく、私たちはトライし続けます。

近視をなくす。  
目を通じた、  
幸福の追求を。

この地球上の近視人口は増加の一途をたどり、2050年には50億人に達すると言われてます。近視を、ゼロにすること。それは、長年、近視矯正のアイウェアにたずさわってきた私たちの、責任であり、使命です。近視の抑制や予防にかかわる研究開発に取り組み、近視ゼロに向かうサービスプラットフォームへとビジネスを転換させること。目を通じたWell-Beingを「Well-Seeing」と位置づけ、近視抑制技術の研究や心身の健康をめざすアイウェアの開発だけにとどまらず、優れた「見る」体験の提供など、「目」を通して、世界中の人々に驚きと喜びをお届けします。

企業。地域。地球。  
一人ひとり異なる  
個性が、それぞれに  
輝く場所であれ。

性別、国籍、障害。個々の意思や特性が蔑ろにされることなく、それぞれが自分らしく生きられる、働ける。私たちはこの地球に在籍する一企業として、そういった社会に寄与し続けたいと考えます。そのためにもまず、JINSで働くすべての人の幸福を追求すること。公平な活躍の機会と人権の尊重。ダイバーシティ&インクルージョンの考えが、すみずみまで行き渡る組織をめざします。

善を生む組織であれ。

強固なガバナンスを構築するためには、なによりも正直さ、誠実さが欠かせません。善を生む組織。すなわち、善人が集まり、育ち、そこに報いる組織であること。最新の課題にいち早く対応し、高いリスクマネジメントを担保するためには、なによりその観点が重要だと考えます。多様性に富み、互いを尊重し合う。誰もが本音で話せる、風通しよい環境を構築すること。JINSの、進むべき未来はそこにあります。



# 2030 GOAL

	KPI項目	2030目標	2025実績
環境への配慮	気候変動への対応	温室効果ガス(CO2)排出の削減 SCOPE1+2 42%削減(2020年比) SCOPE3 25%削減(2022年比)	温室効果ガス(CO2)排出の削減 SCOPE1+2 29%増加(2020年比) SCOPE3 19%増加(2022年比)
		国内ロードサイド・路面店舗の再生可能エネルギー利用率50%	エネルギー利用量の算定方法を検討中。 再生可能エネルギー導入店舗数の状況は以下の通り。 再エネ導入店舗数合計：27店舗(91店舗中) <内訳> ・再エネ電力プラン：2店舗 ・太陽光発電設備(自社所有)：6店舗 ・太陽光発電設備(PPA)：19店舗
	資源循環型社会の実現	アイウェア(樹脂製品)の50%をサステナブル素材に	アイウェア(樹脂製品)のサステナブル素材比率：25%
人的資本の最大化と人権の尊重	従業員のDE&I	女性管理職比率30% 女性店長比率50%	女性管理職比率：21% 女性店長比率：27%
		育児休暇取得率男女ともに100%	育児休暇取得率 男性：85%、女性：100%
	人材開発	人材の国際間異動の推進	人材の国際間異動件数：6件
	サプライチェーンにおける人権尊重	新規サプライヤーと主要サプライヤーへの自社専門部署及び第三者によるモニタリングの徹底(100%)	新規サプライヤーと主要サプライヤーへの自社専門部署及び第三者によるモニタリング率：100%
サプライチェーンでの重大事故ゼロ		サプライチェーンでの重大事故件数：0件	
社会への貢献	目の健康の啓発や優れた見る体験の創造と機会の提供	見る育やアート支援など、人々の見る目を養う活動の継続的な実施	・見る育 JINS×Tech Kids Schoolとの共同プロジェクトやJINS店舗での活動を実施 ・睡眠をめぐる社会課題解決に向けた取り組み「寝る育®」を実施
	地域共生社会への貢献	店舗を通じた、地域共生活動の継続的な実施	・“見る”たのしさを体感する「ミルクアートまつり」を定期実施。 ・JINS PARKのイベント利用権を無償提供し、企画から伴走支援。2025年度は約120件を開催し、地域のにぎわいを創出。

	KPI項目	2030目標	2025実績
イノベーション	近視進行を予防する技術/商品/サービス開発	バイオレットグラスの開発/普及による近視拡大への歯止め	バイオレットグラス(仮)の検証的臨床試験を実施中。
	イノベーションによる新たな価値創造	新しい価値を提供するアイウェアの開発	頭の小さな動きで直感的にデジタルデバイスを操作できるハンズフリーマウス「JINS ASSIST」を開発・発売。
安心の製品とサービス	徹底した品質管理による高品質な製品の提供	品質管理体制の高度化とモニタリングの実施	製品の品質維持のため、設定した継続販売可否基準(不良率が一定以上に達した場合に販売を停止する基準)に基づき、モニタリングと品質改善アクションを継続。
	顧客価値を高めるサービスの提供	製品・サービスに関するお客様満足度の向上	お客様の声をもとに課題を特定し、関連部署と連携して改善を継続。部品の代替、名称や素材表記の見直しなどの取り組みに加え、お客様の声に寄り添い、改善を適宜実施。
健全なガバナンス	健全なガバナンス体制	コーポレートガバナンス執行体制の第三者評価(年1回)と課題への迅速な対応	第三者評価の導入を前提に評価プロセスを検討し、準備段階としての自己評価の具体的な手順を整理。今後、評価項目の策定や自己評価の運用等を通じ、第三者評価を見据えた体制整備を図る。
		第三者による取締役会の実効性評価(年1回)と課題への迅速な対応	第三者による取締役会の実効性評価と、課題に対する改善策の整理を実施。
		独立社外取締役の半数以上の継続	独立社外取締役比率：63%
		役員層の女性・外国籍合計比率25%以上	役員(執行役員以上)の女性・外国籍合計比率：11%

2030

2050

# Sustainability Management

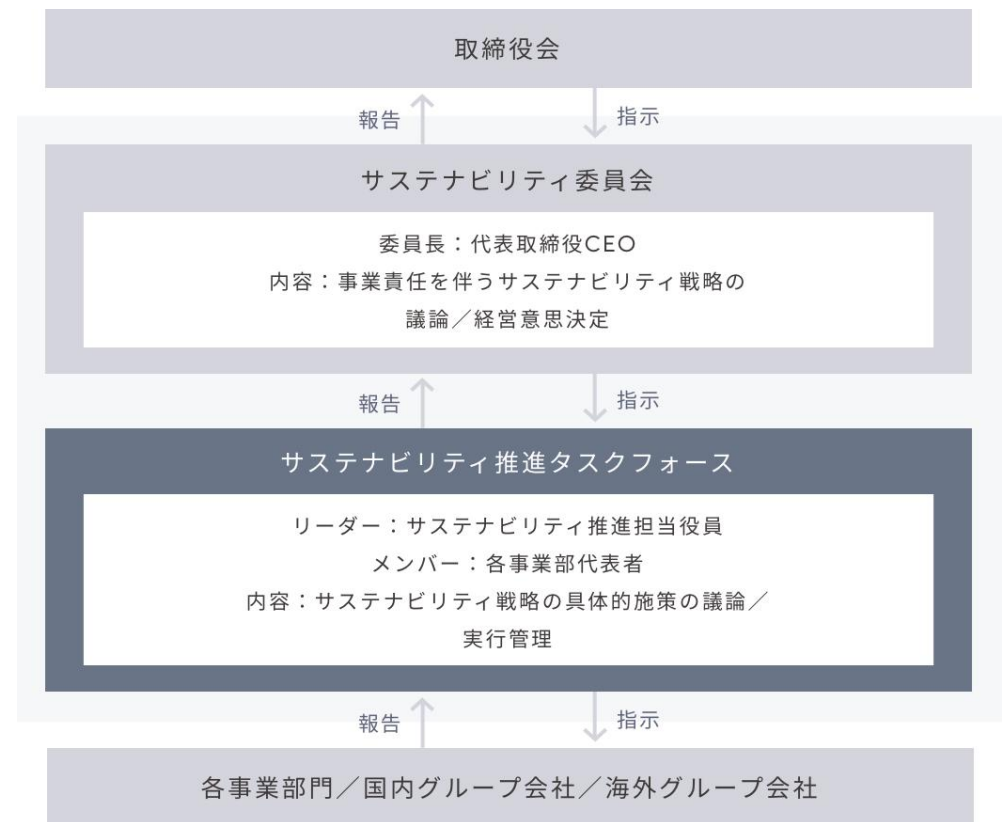
## サステナビリティ推進体制

JINSではグループ全体でのサステナビリティ活動を推進し、取り組みへの透明性を高めるため、サステナビリティ委員会を設置しています。

「サステナビリティ委員会」は代表取締役CEOを委員長とし、原則として年に2回開催しています。同委員会では、サステナビリティに係る全社戦略の決定や2030目標の設定や進捗のモニタリング等を行うと共に、同委員会の下部組織である「サステナビリティ推進タスクフォース」で起案した事項について審議・決定します。会議の過程では、社外有識者で構成された外部アドバイザリーボードにより、タスクフォースの諮問に対する答申やアドバイザリーを適宜仰ぎ、社外からの客観的な視点を経営に反映しています。また、重要事項については取締役会に適宜報告する体制とし、実効性のあるガバナンスを実現しています。

「サステナビリティ推進タスクフォース」は、リーダーをサステナビリティ推進担当役員とし、各事業部からの代表者で構成されます。同タスクフォースではサステナビリティに配慮した中長期的な企業戦略の策定を行うほか、各事業部やグループ各社での施策の実行を管理します。各事業部門ではそれぞれが管理責任を持ち、サステナビリティに係る企業戦略を部門方針や行動計画に落とし込みます。

JINSでは、持続可能な企業成長に向けた経営判断を迅速かつ公正に行い、各部門がサステナビリティへの取り組みを自律的に進めることができる体制を構築しています。



# Sustainability Management

## 外部からの評価



### MSCI ESGレーティング

MSCI ESGレーティングは、MSCIが企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）におけるリスクマネジメントの程度を分析し、最上位ランクの「AAA」から最下位ランクの「CCC」まで7段階で評価するもので、ESG投資の世界的な評価指標とされています。JINSは、ESGへの取り組みや情報開示が高く評価され、最高評価の「AAA」を獲得しました。

2025 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

### MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数は、日本に上場する大・中・小型株を対象にしたインデックス「MSCIジャパンIMI指数」の構成銘柄のうち、ESG評価に優れた企業を各業種から選定している指数です。

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

### MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数は、「MSCI日本株IMI指数」の構成銘柄のうち、ESG評価に優れた企業を各業種から選定している指数です。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESGのパスシブ運用ベンチマークとしても採用されています。



### FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



### FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築されたFTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexは、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。



### CDP

CDPは、世界主要企業の環境への取り組みに関する情報の収集・分析・評価を行う国際的な非営利団体です。JINSは、2025年に気候変動分野においてマネジメントレベルである「B」スコアを獲得しました。



### DX認定

DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」に則ってDX実現に向けたビジョンの策定や戦略・体制の整備などDX推進の準備が整っている企業（DX-Ready）を認定する制度です。JINSは2022年4月1日に認定されました。



### D&Iアワード2025

D&Iアワードは、株式会社JobRainbowの主催により、ダイバーシティ&インクルージョンに取り組む企業を認定するためのアワードです。JINSは最高位の「ベストワークプレイス」に4年連続で認定されました。

## 参加しているイニシアチブ



### 国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクト（United Nations Global Compact）は、国連と民間企業・団体が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブです。JINSは、2022年11月17日に参加企業として登録されました。あわせて、UNGCに署名している日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。



### 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

TCFDは、G20の要請を受け、金融安定理事会（FSB）により設立されたタスクフォースです。企業などに対して、気候変動リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の項目について開示することを推奨しています。JINSは、2022年に気候変動への対応のためにシナリオ分析を実施。その結果を踏まえてTCFD提言への賛同を表明するとともに、提言に基づいて事業に影響を及ぼす気候変動のリスクと機会に関する情報を取りまとめた「TCFDレポート」を開示しました。



# Topics of 2025

## 01

デジタルデバイドのない社会へ。  
可能性を拡張するアイウェア。

## JINS ASSIST



「デジタルデバイスを使って、家族ともっと自由にコミュニケーションをとりたい。」障害のある方やそのご家族からの切実な声に応え、頭の小さな動きで直感的にデジタルデバイスを操作できるハンズフリーマウス「JINS ASSIST」を開発・発売しました。IT利用の格差である「デジタルデバイド」が社会課題となる中、これまでPC操作に不自由を感じていた人が自由にデジタルとつながることで、日常の「できること」が増え、自身の可能性が広がるきっかけを提供します。



## 02

異彩を放つアートで、日常と社会を色鮮やかに。

## HERALBONY との共創

世界中の障害のあるアーティストの才能を評価し、活動の機会を生み出す国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の理念に共感し、JINSは同アワードに協賛しています。そこでJINS賞に選出したカミジヨウミカ氏の作品「夢の中カラフル脳みそ」を起用した、オリジナルのメガネケースとセリットを発売しました。また、JINS東京本社のギャラリーにて同氏の作品展を開催し、一般公開も実施。

従来「障害とアート」のイメージを塗り替え、多様な才能が輝く社会の実現を推進しています。

# 03

正しい知識で、あらゆる世代の心身を健やかに。

## 「寝る育®」を通じた睡眠課題の解決へ



### さとえ学園小学校での「睡眠×データドリブン教育」

NTT東日本グループ等が実施する、睡眠データを活用し個別最適な睡眠改善を探究する教育プロジェクトに参画。さとえ学園小学校の小学4年生を対象に、睡眠における光の影響やブルーライトとの正しい付き合い方を学ぶ特別授業を実施しました。今後も睡眠をめぐる社会課題の解決に取り組んでまいります。

### 中高生が自ら睡眠を研究。 品川女子学院での「寝る育®」



日本では大人だけでなく子どもたちの睡眠時間の短さが指摘されており、発達をはじめ感情面、学習面など様々な影響が懸念されています。

JINSは日本睡眠協会と共同で、品川女子学院の生徒へ睡眠に関する学習機会を提供しました。同協会理事長による特別講座を経て、生徒自らが仮説を立て、夏休みに「就寝前のブルーライトカット®メガネ装着」や「朝食の摂取」などの行動を2週間実践。睡眠日誌を用いた検証と研究発表の結果、多くの生徒が睡眠の変化を実感しました。自分なりの仮説をもつ探究的な学習が睡眠への関心を高め、自発的な生活習慣の改善につながっています。

### 三井住友海上と共同で、 社会人の睡眠環境改善を検証。

「寝る育®」の対象を社会人へも拡大。三井住友海上の従業員を対象に、就寝前のブルーライトカットメガネ装着による影響を検証しました。結果、装着期間中は起床時の「休養感」が大きく向上し、「夜起きる回数」が半減。日中の集中力や健康維持に好影響を与える可能性が示唆されました。



## 04

地域社会の持続的な発展を。

JINS PARK  
Thanks Anniversary 2025

2021年のオープン以来、地域コミュニティのハブを目指してきた群馬県前橋市にある「JINS PARK」が4周年を迎えました。現在では地域の方が主体となって開催・運営するイベントがほぼ毎週末開かれるようになり、自律的なコミュニティへと成長しています。4周年祭では併設するベーカリーカフェ「エブリパン」のオリジナルパンを考える「パンコンテスト」を実施しました。クリスマスには、地元の大学生15名と協力し、廃棄予定のメガネやデモレンズを再利用した装飾ワークショップ「デコってパークなクリスマス」を開催。「JINS PARK」を起点にコミュニティに活力を生む取り組みは、企業が取り組む地域共生のかたちとして全国から注目を集めています。



©KIGURE SHINYA



©KIGURE SHINYA

官民連携で地域課題の解決を加速。

## 前橋市と包括連携協定を締結

2025年2月、創業の地・群馬県前橋市と、地域課題の解決に取り組み、地域の発展や市民サービスの向上を図る、包括連携協定を締結しました。

JINSは地域共生をさらに推進するために、自社だけでなく、自治体や教育機関、地域の企業・団体など様々なステークホルダーとの連携を強化していくことが重要だと考えています。前橋市との連携をより一層強化し、地域の課題解決を推進しながら地域とともに成長する企業として、持続可能な社会へ貢献してまいります。

## 05

# 06

世界へ広がる視覚支援。

## 台湾のすべての人へ 「見える」喜びを



### 「JINS GO」を通じた地域交流

地域住民との繋がりを強化するため、移動式メガネ販売車「JINS GO」で台中エリアを巡回し、目の健康を促進する社会貢献イベントを実施しました。プロによるアイマッサージの提供や、ゲームを通じた正しいアイケア知識の啓発、目に優しい漢方茶や軽食の配布を行い、人々の目の健康に対する意識向上を図りました。

### 花蓮市の児童へメガネ無償提供

大規模な火災で被災された方からの声に応え、花蓮市役所と連携。学ぶ意欲がありながらも、経済的な事情で支援を必要とする小中学生を対象にメガネを無償で提供し、子どもたちの健やかな学習を支えるための視覚支援を行いました。



デジタル活用の新顧客体験と、地域社会への貢献。

# 07 LAに新店舗 JINS Abbot Kinney店

### JINS O O L.A.

We are donating 100% of sales during 1/17-19 from our 4 L.A. stores in an effort to support this community that we love so much. Donations will go to:

CAL FIRE Benevolent Foundation  
GoFund Me Wildfire Relief Fund 2025

We love L.A. and we hope to see you soon.

Visit us:

JINS @ The Shops at Santa Anita, Arcadia  
JINS @ Westfield Fashion Square, Sherman Oaks  
JINS @ Del Amo Fashion Center, Torrance  
JINS Abbot Kinney, Venice (Opening 1/17)

2025年1月、グローバル展開を加速し、世界中の誰もが買いや  
すい顧客体験を確立するため、米国・ロサンゼルスのアボット  
キニー通りに新しい顧客体験の実験店となる「JINS  
Abbot Kinney店」をオープンしました。  
また、出店地域への貢献として、ロサンゼルスで発生した山  
火事の被災地支援を実施。同店を含むロサンゼルス地域の4店  
舗において、3日間の売り上げの100%を現地の支援団体へ寄  
付しました。  
イノベーションの追求とともに、地域社会の復興と持続可能  
な発展に貢献していきます。

# 08

人的資本の強化で、グローバルでの成長を加速。

## 新卒初任給引き上げと、 3年連続ベースアップ

JINSはグローバルでの成長を加速するため、人的資本への投資を強化しています。2025年9月より、店舗の正社員※1を対象に3年連続となる基本給のベースアップ（月額15,000円増）を実施。さらに2026年4月入社より新卒社員※2を原則「グローバル社員」と位置付け、初任給をアイウェア業界No.1※3となる月額300,000円〜に改定。また、留学生等の入社機会を拡充するため、10月1日入社を追加しました。世界を舞台に活躍できる優秀な人材の採用・育成を強化する一方、国内で地域限定勤務も選択できる「リージョナル社員」など、個人の志向に寄り添ったキャリアパスも用意。意欲と能力のある社員に報いる体制で、持続的な事業拡大を推進してまいります。

※1：店舗の正社員は準社員・パートを除く、エリアディレクター、ストアディレクター、クリエイター（一般社員）、トレーナー  
 ※2：高卒新卒社員を除く。高卒新卒初任給は26万円に引上げ  
 ※3：当社調べ  
 2025年3月25日時点のアイウェア大手13社の公開求人情報を調査

# MSCI ESG RATINGS



MSCI「AAA」2年連続選定。  
 FTSE JPX Blossom Japan Index初選定。

# 09

## 世界的ESG指標で、 高い評価を獲得



JINSのサステナビリティに対する継続的な取り組みと情報開示は、グローバルなESG評価機関からも評価いただいており、MSCI ESGレーティングで、2年連続最高評価「AAA」を獲得。また、2025年12月にはESG投資の代表的指数である「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定。「FTSE JPX Sector Relative Index」の構成銘柄には3年連続で選定されました。さらに、国際的な環境非営利団体CDPの「気候変動レポート2025」においても、サプライチェーン全体での環境対応が評価され、初の「B」スコア（マネジメントレベル）を獲得しました。社会課題の解決と持続可能な成長に向けて、着実に歩みを進めています。

# JINS SUSTAINABLE PRODUCTS 2025



JINS HOME



Light slim



JINS READING



Quick Fit Bold



JINS x Snow Peak  
SUNGLASSES +360°



Patricia Urquiola

JINS 2030目標  
アイウェア（樹脂製品）の50%を  
サステナブル素材に

↑ サステナブル  
素材比率：  
(2025年8月時点) **25%**



サステナブル  
代表素材

**G850**

例：JINS HOME

非可食の作物であるヒマ（トウゴマ）種子から得られるひまし油を含んだアルケマ社の「Rilsan® Clear G850 Rnew®」。1年以上にわたる実用化検証を経てサステナブル製品が長らく課題としていた美観と強度のトレードオフを克服し、発色の美しさと耐久性・柔軟性を兼ね備えた素材を実現しました。